

思考力を高め歴史を学ぶ楽しさを味わわせる授業 ～人類の出現から文明の発生～の授業実践

埼玉県加須東中学校 杉田 勝

1 はじめに

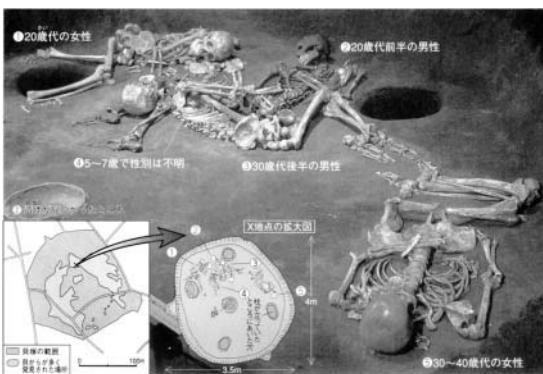
新学習指導要領での歴史学習は、時代区分を大きくとらえることとし、詳細な事象の学習に陥らないようにしている。

ここで扱う題材は、日本列島において人々の生活が始まった頃である。この時代は、歴史的に評価の定まった資料の乏しい時代である。学説もさまざまであり、今後確かな証拠となる多くの発掘が待たれる頃でもある。しかし、その分生徒の関心や意欲をもとにそれぞれの思いや考えを表現したり、伝えたりすることのできる学習の場となる。中学校における歴史学習の本格的なスタートであり、生徒の意欲や関心を大切に、基本となる資料について多面的・多角的に予想したり、考察したりすることによって、歴史を学ぶ楽しさを味わわせるとともに、歴史的な事象の見方や考え方を高める一助としたい。

また、この授業を通して、一人一人の生徒が歴史を学ぶ上での指標やものさしとなる知識を身につけ、その後の学習に生かせるようにしたい。

2 学習の大きな流れ

授業の始めに基本となる帝国書院『中学生の歴史(最新版)』(以下、教科書) p.54の復元図を生



帝国書院『中学生の歴史(最新版)』p.54

事実をカード化し、全体で話し合い整理する。それをもとにいくつかグルーピングし、分類し仮説を立てるとともに検証するための手だてを考える。さらに、検証する過程で明らかになったことをもとに、当時の人々の生活を想像し図やイラストにまとめるという流れで学習を進める。その際、生徒が想像し作成した図やイラストには、わかったことや疑問点を書き込んでおくスペースを設け、今後歴史学習を進める中で比較したり、新たな疑問点が追加できるようにする。

全体を貫くテーマ

発見された人骨の人々が生きていた頃のようすを再現してみよう!!

(1) 学習の流れ

一人一人の生徒が、基本となる教科書p.54の「復元図」から、わかることや疑問点を整理する。それを大きく分類し、班ごとに追究するものを選択してそれを検証するための条件を整理する。

予想される事実と疑問点(抜粋)

- *折れるようにして死んでいる人と、身を伸ばして死んでいる人が折り重なるように死んでいる。
 - *穴が4カ所あいている。
 - *炉がある。
 - *この場所の近くには貝塚が広がっている。
 - *この場所は、円のような形となっている。
-
- *この人骨の人たちは家族で住んでいたのか。
 - *食料として何を食べていたのか。
 - *本当にこの人骨にある人々が縄文期の人々といえるのか。
 - *住居と思われる家のづくりにはどのような点が工夫されているのか。
 - *貝塚と何か。どのような特徴があるのか。
 - *人骨のほかになにか見つかったものは？

徒に提示する。そして、まずこの資料からわかる

班ごとに、関心ある事実や疑問をもとにテーマを決め、予想や仮説を立て検証する作業を行う。その際、班ごとに縄文期のもと思われる資料を選んで作業し参考にする。

【A班】の学習活動<人骨の人々の死因>

折れるようになっていたり、身を伸ばしたりして折り重なるようにして死んでいるのは・・・

生徒の予想・仮説

何かの災害に巻き込まれたのではないのか？あるいは栄養失調か何か病気にかかったのではないのか。

教師の支援

- ・この時代に災害があったことを証明するものはないのだろうか。
- ・何か病気にかかったことを証明するものはないだろうか。

教師の指導・助言

地層については、含まれる火山灰の特徴からどのものかわかり、その火山を調べればいつ噴火したかを特定できるようです。したがって、もしそこに何かが発掘されれば、いつ頃のものがわかるようです。<岩宿遺跡断面>

また、栄養失調については、骨の成分から科学的に明らかになるようです。

【B班】の学習活動<食べ物に注目>

この時代の人々の食生活は・・・

生徒の予想・仮説

貝塚からさまざまなものが食料となっていたようなので、恵まれていたのではないのか。でも、どのような方法で食料を確保していたのだろうか。

教師の支援

- ・安定的に食料を確保するためにどのような工夫をしたのだろうか。
- ・この頃の調理方法はどのような方法を用いたのだろうか。

教師の指導・助言

貝塚から明らかになる食べ物を書き出し、収穫時期を考え1年間のカレンダーに整理してみよう。

また、食料の安定的な確保という点で、どのような方法がとられていたのか考えてみよう。

さらに、安全でよりおいしい食べ方について考えてみよう。その際、教科書のp.47などにある他の時期の食べ物などとも比較してみよう。

【C班】の学習活動<住居に注目>

住居の特徴は？つくられていた場所は・・・

生徒の予想・仮説

安全で住みやすい場所でなければ家はつくらないので、住居は、条件的に恵まれていた場所につくられたんじゃないかな。

教師の支援

- ・現在家が多く建つ場所の条件を考え、これをヒントに当時のようすを想像してみよう。
- ・いくつかの住居跡を地図に整理し共通点を整理してみよう。また、教科書のp.63などにある他の時期の住居などとも比較してみよう。

【D班】の学習活動<貝塚に注目>

貝塚とは何？貝塚があるということは・・・

生徒の予想・仮説

当時の食料について明らかになるとともに、当時の動植物や自然について明らかになるのではないかな。

教師の支援

- ・貝塚の分布図をトレーシングペーパーに写し、地図帳のp.89・90の地図と比較してみよう。

教師の支援や指導をもとに、班内で協力しながら検証したことを整理し、人骨の人々が生きていた頃の想像図やイラストを描き、発表会を行う。

この時期の学習は、一つの遺跡の発見や発掘から学説が大きく書き換えられるゆえ、歴史学習に対する意欲を喚起する上で大切にしたい。

この授業では、A班の追究テーマは検証の実現が難しいものであり、それ以外の班の追究テーマは、科学的に分析された資料があり、検証が可能なものである。さまざまな説が存在するという前提のもと、このように、生徒の比較的自由的な発想をもとにして授業を展開した。その中で、教師の指導や生徒同士の情報交換により、今後の歴史学習に生かすことのできる指標やものさしとなる知識を身につけ、歴史的事象の見方や考え方を高めることができた。

(2) 生徒の思考を高める資料

- ・三内丸山遺跡を報道する新聞記事を集め、遺跡から明らかになった場所の組み合わせを考えさせる。
- ・縄文土器・耳飾り・土偶・ヒスイ・黒曜石・弓矢・もり・やすり等の道具の資料を、教科書や

資料集、百科事典などから集め、その用途をまとめさせる。

- ・関東南部における貝塚分布図から、当時の海岸線をなぞらせてみる。
- ・貝塚から出土した食料を調査し、色分けし分類させる。



▲⑤ 貝塚から見つかるもの



▲⑥ 屈葬された遺体 (千葉県 加曾利貝塚博物館蔵)

帝国書院『中学生の歴史 (最新版)』p.55

3

生徒が描いた想像図例

F君の想像図



想像図に補足するもの

<テーマ>縄文時代の人々の食料

<予想または仮説>

- ・縄文期に生きた人々は恵まれた食生活だったのではないか。

<伝えたいこと>

- ・家族を中心として集団生活を送り、1年中海の幸や山の幸を食べることができた。

<資料或いは他の班から参考にしたこと>

- ・土器の製作による加熱および調理
- ・食糧確保のために、山と海の境に家を建てた。
- ・貝塚の分布図の共通点

G君の想像図



想像図に補足するもの

<テーマ>自然を畏れた縄文人

<予想または仮説>

- ・すべてが自然の廃物なので、食料の確保や生命の安全も含め、自然に畏れを抱いていたのではないか。

<伝えたいこと>

- ・不安な中で数十人単位で共同生活をしていたこと。

<資料或いは他の班から参考にしたこと>

- ・三内丸山遺跡の大きな建物
- ・土偶
- ・縄文人の食料 (貝塚から)

4

おわりに

生徒は基本的な一つの資料をもとに、この時代の様子を思い思いに想像した。これは資料に対して、生徒に先入観を持たせずに自由な発想を引き出す上で大いに効果があった。また、想像図を描かせたことで、生徒の思考を整理させる上において効果があった。図に表すということで根拠が必要になるからである。それをより具体化すべく、想像図の下に補足資料をそえた。さらに、想像図の発表の中で、教師が何を根拠にその結論にいたったのかを黒板に整理した。このことにより、生徒の自由な発想から始まった学習の中で、歴史を学ぶ上での指標やものさしとなる知識を提示することができ、歴史的事象の見方や考え方を育てる契機となった。この授業を通して、時代を代表する基本的な資料に生徒がじっくり正対することの重要性を再確認することができた。